

カスタネット

Vol. 52
2026.9



「くるみん認定※」を取得した永光建設株式会社を取材しました！

特集：誰もが自分らしい生き方・働き方を選べる社会へ

～仕事と子育てが両立できる職場づくり～

【記事】男女共同参画セミナーレポート／ 推進員だより



※くるみん認定

次世代育成支援対策推進法に基づき、一定の基準を満たした場合に、「子育てサポート企業」として、厚生労働大臣の認定を受けることができる制度。商品や広告、求人票等に認定マークを付することのほか、公共調達において加点評価を受けることができる。

帯広市に本社があるくるみん認定企業は10社。（2026年8月18日現在）



詳しくはこちら

「カスタネット」とは・・・2枚の丸い木が合わさり音が出る楽器から、女性と男性が共に歩むイメージを表現したものです。

誰もが自分らしい生き方・働き方を選べる社会へ

— 永光建設株式会社が取り組む「子育てサポート企業としての仕事と子育ての両立支援」についてお聞きました —
ライフステージに応じた環境づくりの一例として、多くのヒントがみつかりそうです。

〇 くるみん認定を取得しようとしたきっかけを教えてください。

以前から、育児支援や柔軟な働き方に取り組んでいましたが、女性社員が会社で初めて育休を取得し、育休取得の実績とあわせこれまでの取り組みがくるみん認定の要件に該当すると知り、申請に至りました。

〇 両立支援に力を入れる前、社内になどの課題がありましたか？

制度自体はあっても、特に男性が育休や時短勤務を取りづらい雰囲気がありました。結果として、女性にばかりケアの負担が偏ってしまうような、**根強い固定観念を払拭していく必要性を感じていました。**

それまでは育休の対象者が会社におらず、初めてのことであったので、自分で育児休業給付金のことなど色々調べて、会社と相談しながら育休を取得しました。

席を残しておくよ、待っているからねと言ってもらえたことで、安心して育休に入りました。

佐々木さん（総務課）
会社で初の育休取得
取得期間 1年3か月



〇 男性の育休取得を推進するために行った「社内の雰囲気づくり」や、それによって感じた「変化」について教えてください。

配偶者の妊娠がわかった男性社員には、上司や人事から個別に「育休を取る？」と個別に声をかけるようにしました。**大切なのは「会社として取得を後押ししている」というメッセージをはっきり示すことです。**それらの取り組みのおかげで、社員が「ライフステージを支えてくれる会社」と実感でき、会社への信頼感も深まっていると思います。

〇 育休等に入る際の仕事の引き継ぎや、不在中のチーム体制は、どのように工夫していますか？

日頃から特定の誰かに業務が偏らないよう、チーム全体で取り組むことを意識しています。具体的には、「**二人体制**」や「**ペア担当**」を導入し、負担を分散できるようにしています。また、月に一度の会議で個々の仕事を可視化して共有し、**お互いの状況を把握できる環境を整えています。**

【インタビューを終えて】

「出産後も仕事を続けたい」という想いと、「復帰してほしい」という会社の想い。お互いに寄り添い、徹底的に調べ勉強を重ねた結果が「くるみん」認定に繋がっていました。

今後は、男性社員の長期育休取得や復職後のキャリア面談など、更なる環境整備に注力されていきたいとのこと。働き方を柔軟に選べる企業として、子育て世代を全力で応援する温かい姿勢に、熱意を感じました！（田沼推進員）

— 男性で初めて育休を取得した方からもお話を伺いました —

〇 家族のために決めた育休取得と、周囲からの心強い後押し

子供の成長を間近で見守りたい気持ちと、妻の負担をできるだけ軽くしたいと思い取得を決めました。

引き継ぎに対する不安は全くありませんでしたし、**周囲から「先のことは心配せずに育児に没頭しなさい」と背中を押してもらえたのが嬉しかったです。**



M.Rさん（清掃課）
男性初の育休取得
取得期間 2週間

〇 育休で変わった仕事への意識とキャリア観

仕事面では、メンバーそれぞれの家庭環境や事情にも配慮しながら、**「チームで支え合う」という意識が一段と高まりました。**

また、長いキャリアの中で見れば、育休はほんの1期間かもしれませんが、家族とじっくり向き合えたことで、**今後の働き方や自分のキャリアをより前向きに捉え直すきっかけになりました。**

〇 仕事の代わりはいても、子どもの父親は世界に一人だけ

育休を取ろうとする時、仕事に穴をあけてしまうとか、周りに迷惑をかけるのではないかと不安は当然抱くものだと思います。

最初から完璧を目指す必要はありません。まずは制度の内容や金銭面を確認しつつ、どんな形なら取れそうか、ご家族や職場の仲間と一緒に考えてみてはいかがでしょうか。



「両立支援の取り組み」や「くるみん認定取得」を目指す企業へ、アドバイスをお願いします！

まずは自社の現状をしっかりと把握し、身の丈に合った、**すぐ実行できる小さな改善を積み重ねていくこと**だと思います。

部署ごとの運用ルールを見直したり、引き継ぎ方法を現場と一緒に考えたりと、**現場の実状に合わせた取り組みを一つひとつ形にしていこう**ことが一番の近道ではないでしょうか。

代表取締役
村上 誠さん



永光建設株式会社

所在地：帯広市西20条北2丁目28番地21
業務内容：建設業
社員数：61名（うち女性11名）

1989年創立。
以前より社員一人ひとりが働きやすい環境づくりに取り組んでいる。
2025年帯広市で8番目にくるみん認定を取得。
現在、よりハードルの高いプラチナくるみに挑戦中！

プラチナくるみん
についてはこちら



男女共同参画セミナーレポート

誰もがいきいきと暮らすための心のコツ
～精神科医からのアドバイス～

令和8年8月9日、とかちプラザ・レインボーホールにて、精神科医の香山リカさんを講師に迎え男女共同参画セミナーを開催しました。

講演ではまず、私たちの心を縛る無意識の「思い込み」について取り上げられました。「役に立たなければ」「他人に負けてはいけない」といった固定観念や、SNSを通じた他者との比較、性別・年齢による偏見など、具体的な事例とともに、わかりやすく解説していただきました。

そのうえで、「生きているだけで価値があり、属性は人生の価値とは無関係」と強調され、心をラクにする実践的なコツとして「自分にやさしく声をかける」「自分をごきげんに保つ」ことの大切さを提示されました。「人生に正解や勝ち負けはなく、誰もがいきいきと暮らす権利を持っている」という温かいメッセージを受け、今日から少し心をゆめて歩みだせるような、充実したセミナーとなりました。

香山さん、この度はご講演いただきありがとうございました！



講師：香山 リカ 氏（精神科医、北洋大学客員教授）

1960年札幌市生まれ。
東京医科大学を卒業後、精神科医となる。臨床のかたわら帝塚山学院大学教授、立教大学教授などとして教育活動にも携わる。2022年4月より、北海道のむかわ町国民健康保険穂別診療所でへき地医療に取り組んでいる。

【男女共同参画講座のお知らせ】

「ともに育む、これからの働き方：仕事と育児の両立支援講座」

日時：2026年10月21日（水）15：30～17：00

場所：とかちプラザ 402 講習室（Zoom受講も可）

仕事と育児の両立には、個人の努力だけでなく「職場環境づくり」が不可欠です。最新の制度・給付をはじめ、両立支援の職場環境づくりに興味のある方は、ぜひご受講ください。

講師

特定社会保険労務士
辻田 亜紀子 氏

申込フォーム
はこちら



推進員だより

帯広市男女共同参画推進員は、市民協働のパートナーとして、帯広市と一緒に男女共同参画を広げるための活動をしています。



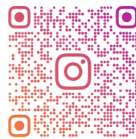
新川推進員

今回の企業訪問で最も印象的だったのは、社員が働きやすさを実感できる環境と、互いのライフイベントやキャリア形成を支え合う社風です。

くるみん認定企業として高い育休取得率・復職率に加え、制度の有無を超えて互いを尊重し、子育てと仕事の両立に向けた情報共有やサポートを自然に提案しあえる関係性に強く感銘を受けました。

今回学ばせていただいた「働きやすい環境づくり」と「対話のある職場」について、これから子育てサポート企業を目指す皆様へ届けられるよう、推進員として活動してまいります。

Instagram /



OBI_SHIKATSU

市民活動が男女共同参画に関するイベント、講座等の情報を随時更新しています！

帯広市 市民活動課



カスタネット 52号 令和8年9月発行

発行：帯広市 市民活動課 男女共同参画係 企画編集：帯広市男女共同参画推進員

所在地：〒080-8670 帯広市西5条南7丁目1 電話：0155-65-4134



バックナンバーは
こちらのQRコードから
読むことができます